



Ferris University

2017 No.15

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。

ルカによる福音書 12章32節

「ハインリッヒの法則」

理事長 奥田 義孝



「ハインリッヒの法則」をご存知でしょうか？アメリカの損害保険会社の社員であったH・W・ハインリッヒという人が1930年ごろに発見した災害や事故の発生に関わる規則性についての法則です。別名「1..29..300の法則」とも呼ばれますが、重大な事故が1件あると、その背後に比較的軽微な事故が29件あり、更にその背後にヒヤリとするような事故が300件あるという法則です。主として交通機関や建設、医療などの現場で起こる災害について、統計学的な検証から導き出された法則ですが、労働の現場だけでなく、1..29..300の確率は変わるとしても、さまざまな身近なところで、広く適用できると云われています。

私がこの法則を初めて知ったのは、まだ駆け出しの銀行員だったころですが、基本的な一見些末な仕事をきちんとやるのが、大きなミスをおこさない基本だと叩き込まれたのです。基本的なことをきちんとやっているとすれば大きなミスをおこさないということは、逆に云えば大きなミ

スや事故を起こすのは、日常のルーティンをいい加減にやっているからだということになります。重大事故や不祥事が報道されると、さまざまな手抜きや定められたルールに反する実態があぶり出されるのは、よく経験することです。「ハインリッヒの法則」に即して考えれば、われわれが知らないところに隠れた不祥事がままたまあることになりました。もともと、この法則を重視し過ぎると、完璧を期するあまり、万事に細かくなり過ぎたり、過度の保守主義になる弊害も指摘されています。然し一見些末に見えることが、後日あのととき手を打っておけば……と悔やんだ経験もそれぞれ大なり小なりあるのではないのでしょうか。

こういうことを考えたのは、「ハインリッヒの法則」は、われわれの日常生活、ひいては人生にも当てはまるのではないかと思っただけです。災害や事故のように数字で検証し、経験則を導き出すことは出来ませんが、日頃の生き方が大事なときの判断や行動を左右することはお互い経験することです。広い意味での教養の大切さでもあります。

人生において若いときに受けた教育の大切さと思うと、フェリス女学院で学ぶことを選択された同窓生のみな様はご自分の選択が間違っていないかとお思いのことでしょうか。キリスト教に根差す「For Others」の教育理念に育まれたお一人おひとりが、それぞれの場所で平和をもたらず器として日々生かされていることを願っています。

いざという場合

学院長 鈴木 佳秀



新潟大学で人文学部長を拝命していた関係で、退職後も、部長時代の仲間と時おり会い、一緒に食事をする機会がある。食事といつても、当然ながらお酒が入る。それも、ただ飲むのではなく、共通の主題を決めて、それぞれが論じ、語るのを聞きながら食事を楽しむという趣向で、十年近くも続いている。

前回は、寿命という主題であった。食事がまずくなるという心配もあったが、結構盛り上がった。理由は、いつミスイルが飛んでくるかもしれないというご時世になったからである。それぞれはすでに仕事を終え、引退するような年齢であるため、ミスイルを落とされて死ぬもよし、ということを手先口にしていったのである。だが、わたくしはそれに同調できなかった。

寿命という主題を掲げた友人は、政府の対応を批判し、ミスイルが落ちてくる際の、避難の方法とか、防災の対策について何も語らないのはおかしいという論調であった。新潟では、柏崎原発にミスイルを打ち込まれたら

終わりだ、という覚悟がある。逃げようもないからである。それゆえ、友人たちは「それで死ぬもよし」と笑っていたのである。わたくしの立場はそれとは違う。横浜に四千人近い生徒や学生、教職員を抱えている立場として、笑ってはられないからである。

簡単に「それで死ぬもよし」とは言えないのだ、と説明したところである。ところが、寿命という主題を提起した工学部長をして、友人は、横浜は大丈夫だ、心配なのは新潟だと話を混ぜ返し、横須賀基地があるような場所には迎撃ミスイルが配備されているから、フェリスは大丈夫だという。新潟はそうした防備が一切ないから心配なのだから、大笑いしたのだが、一同シーンとしてしまった。酔いも覚めようという話であったが、平和ボケしている現状に危機感を抱いたのは同じであった。ミスイルが来るのが先か、大地震が来るのが先か、という話題になった。関東大震災の前にあった元禄大地震（元禄十六年、一七〇三年）のことが話題になった。横浜で、カイパー校長が殉職したことを考えると、生徒たちをどのように守れば良いのか、考えさせられた。

我々には、次世代を担う若者たちを守る責任がある、という点で全員が一致したのは言うまでもない。まだまだくたばるのは早すぎるといところで、お開きになった。自宅に戻り、祈りをささげたのは自然の成り行きであった。

感謝とご報告

学長 秋岡 陽



のアクティブ・ラーニング授業への対応など、最新の校舎環境が整備されています。感謝です。

今年四月から、フェリス女学院大学では、「主学教養教育機構（CLAE）」を中心に行う、新しいリベラル・アーツ教育がスタートしました。全学部の学生を対象とした、四年間にわたる体系的な教養教育です。

CLAEとは、Center for the Liberal Artsの頭文字をとったもの。新しい時代に求められる知識、語学運用能力、課題発見・解決方法などの学びを通じて、「新しい時代を切り拓く女性」の育成をめざします。いかにもフェリスらしい、新教育のスタートです。

新教育の推進拠点となる校舎「CLAE棟」の整備も、皆様のご支援のおかげで、無事にすめられました。とくに同窓会の皆様には、維持協力会の「二五〇周年記念募金」を通じて、力強いお支えをいただいております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。整備された「CLAE棟」は、おかげさまで、学生たちに大好評です！ ガラス・パーティーションを使って学修活動の可視化をはかる工夫や、PBL（Project-Based Learning）な

「CLAE棟」に設置されたのは、そうした最新の教室設備だけではありません。学院の歴史資料を展示する「ウェルカムセンター」、建学の精神と教育理念「For Others」の象徴的な活動の場としての「宗教センター（コイノニアコーナー）」「ボランティアセンター」「バリアフリー推進室」、さらには、キャンパス内外の国際交流活動を活性化し、留学を志す学生と受入留学生の支援を行う「国際センター」も「CLAE棟」内に設置されています。

フェリス女学院は日本で最初にキリスト教女子教育を始め、以来つねに「新しい時代を切り拓く」教育を行ってきました。そして今、グローバル化が進む一方で、先行きが不透明だとも言われる時代に、「二世紀の教養をもつ」「新しい時代を切り拓く女性」の育成をめざし、教育内容と教育環境のより一層の整備をすすめてまいります。今後とも、ご支援、お力添えいただけますようお願いいたします。



維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、一九九五年に設立された支援組織です。設立以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会では、二〇二〇年の学院創立二五〇周年に向けて、昨年六月から記念募金のご寄付をお願いしております。昨年度は募金目標額を例年の倍の八〇〇〇万円といたしましたがおかげさまで七〇〇〇万円を超えるご寄付をいただき、緑園キャンパスのCLAE棟の改修工事資金にも活用させていただきました。二〇一七年度は、一五〇周年記念募金として、引き続き学院は「二五〇周年記念館（仮称）の設置等」、大学は「CLAE棟整備（第一次）」、中高は「外構及び環境整備事業」のため、前年度同様募金目標額を八〇〇〇万円といたしました。引き続きご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。詳細は募金趣意書をご参照ください。また、一五〇周年記念募金のほか、通常の募金「施設設備のための積立て」もお願いしておりますので、あわせてご支援を賜りたくお願い申し上げます。

●ご寄付の方法

原則一口一万円としていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ATM・クレジットカードによる寄付も受け付けております（※詳細は学院HPをご参照ください）。継続的なご支援を

検討の方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能です。ご希望の方は、左記までお問い合わせください。

●会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会后、会員の皆さまには、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「ご寄付明細」及びフェリス女学院維持協力会たより「緑の丘の上で」をお送りします。こちらは、寄付金使用状況の報告及び寄付者芳名録（掲載を了承いただいた方のみを掲載しております。寄付金総額が二五万円に達した方は、終身会員としてご登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、年二回フェリス女学院広報「ALL FERRIS」をお届けします。

●寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます。必要書類は、学院から送付。

※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「振替払込請求書兼受領証」か「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 〇四五・一六二・一四五・一一
E-mail hsonnu@ferris.ac.jp

りてら・りべるて・Fグループ合同総会

2017年6月10日・カイパー記念講堂にて



第14回合同総会は、梅雨の晴れ間、山手カイパー記念講堂に約180名の会員のご出席を得て開催いたしました。

開会に先立ち、星野事務局長より、学院150周年記念募金に対する同窓生の皆さまへのお礼の言葉と、引き続きの協力依頼がありました。

礼拝は、荒井眞副学長、奏楽は千葉麻莉子さんにお願ひ致しました。聖書創世記3章17〜19節、ルカによる福音書12章27〜28節を朗読され、「天職とは？」と題してお話をされました。天職と考えると、自分にあつた仕事について、その喜びを感じ働けることを考えますが、昔は、労働はネガティブなことでありました。神様の意志が天職で、その語源は、ドイツ語や英語では、「呼ぶ」という語より来ています。神様から呼ばれ、与えられた職(労働)が天職で、その重要な仕事は「祈ること」であるとお話しくださいました。

ご来賓として奥田義孝理事長、秋岡陽学長、荒井眞副学長、谷知子副学長、井上恵美子文学部長、木曾順子国際交流学部長、立神粧子音楽学部長、谷口昭弘音楽芸術学科主任、星野薫事務局長、佐々木在大学生務部長、川本淑子大学生務部次長、高松厚子中高事務室長、高山正明山手事務室長代行、



衛藤怜子フェリス白菊会会長をお招きいたしました。

小澤美智子りてら会長ご挨拶の後、奥田義孝理事長よりご挨拶を頂きました。荒井先生の礼拝を受け、神様は公平で、公平とは、物を分ける時、何が公平か考えることです。そして、それは母校に寄付することです、とユーモアを交えて150周年記念募金のお願ひを含めて皆様にお話しされました。

続いて、秋岡陽学長より、パワーポイントを用いて150周年の伝統を未来に継承するための4つの柱である

- ・キリスト教の信仰に基づく女子教育
 - ・For Others
 - ・リベラルアーツ
 - ・CLA棟整備の進行状況
- を、お話しいただきました。

その後、音楽学部の卒業生の吉田明末さんによるソプラノ独唱、オペラ蝶々夫人より「ある晴れた日に」を、ピアノ伴奏漆間有紀さんにより演奏されました。そして、全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場に向かいました。



来年は6月9日(土)、山手で開催予定です。皆さま、お誘いあわせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

りてら同窓生のつどい

6月10日(土)、カフェテラス・フェリスにて、『りてら同窓生のつどい』が開催されました。天気には恵まれ、爽やかな風が吹く中、多くの同窓生がカイパー記念講堂から少し離れた会場まで足を運んで下さいました。

学院より奥田義孝理事長、星野董事務局長、大学より秋岡陽学長、荒井貞副学長、谷知子副学長、井上恵美子文学部長、木曾順子国際交流学部長、佐々木在事務部長のご臨席を賜り、ご挨拶とお言葉を頂きました。その後、小澤会長より秋岡学長にCL A棟の設備充実のための寄付金の贈呈が行われました。CL A棟は設備が充実しており、校舎内も本当に明るく、学生の様々な学習スタンスに対応しています。同窓会の一つ一つの活動が、在校生と深くつながり、微力ながらも次世代をサポートすることができるとともに光栄なことであると感じました。

また、来賓の先生方、参加された同窓生の皆様のお言葉を拝聴致しまして、同窓会に対する大きな期待も強く感じました。多くの方々に喜ばれ、未来へつながる同窓会でありつつけるには何が一番に必要であるのかをお教え頂けるような素晴らしい一日でした。

(報告 並江由佐子・2007回)



第28回 りべるて総会

爽やかな天候に恵まれ、6月10日(土)、家政科記念館にて、学院から奥田義孝理事長、秋岡陽学長、星野董事務局長、佐々木在事務部長のご臨席のもと、りべるて総会が開催されました。

はじめに、奥田理事長へ150周年記念募金の寄付贈呈をいたしまして、ご挨拶をいただきました。続いて秋岡学長『りべるて奨学金』を贈呈いたしました。秋岡学長より、学生たちへの支援のお礼と、これまで紳々と続いているフェリス学院がとても良い学校であり、これからも続けていられるようにとご挨拶をいただきました。

次に、金子和恵会長より挨拶があり、学院の150周年にむけての計画として、新たに6号館の中に合同の同窓会イベントスペースの設置や資料室の充実等の件そしてりべるての30周年に際し、来年10月頃に記念行事を企画しているなどの話がありました。

引き続き、26名出席、委任状1608名をもって議事に入りまして、2016年度事業報告、会計報告、会計監査報告、2017年度事業計画(案)、予算(案)が審議承認されました。

役員紹介挨拶の後、懇親会へ移りました。家政科の第一期生である昭和25年卒の方々がおみえになり、当時の学生生活の様子として映画や宝塚歌劇を楽しんでおられたことなどを笑顔で語られました。同じ山手の丘でたくさん貴重な時が移り、現在に至っていることを実感し、今ここに同窓会の活動をつなげてゆけることに感謝いたしました。

(D57 田原吉子)



Fグループ総会

6月10日(土) 8号館アートサロンにてFグループ総会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、遠方の方々も含め多くの同窓生にお集りいただきました。小林会長の挨拶に始まり、ご臨席賜った奥田義孝理事長、秋岡陽学長、立神粧子音楽学部長、谷口昭弘音楽芸術学科主任、宮本とも子教授より、音楽学部を大切に考えていただいているお話や、同窓生に対する感謝のお言葉を頂戴いたしました。

議事では16年度会計報告、会計監査報告、17年度予算案がそれぞれ承認され、16年度活動報告、17年度活動予定の説明がなされました。会則の改定(特別役員の設置)についての説明の後、毎年恒例の新卒業生二名による声楽、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。各支部からのご報告、海外にいらつしやる同窓生のお話などいただき、大変盛り沢山な内容となりました。

本年度はジョイントコンサートと150周年記念募金コンサートの大イベントに向けて準備を進めて参ります。山手の丘合同発表会も併せて、皆様の応援、ご参加を心よりお待ちしております。

(報告 亀山知子・35回)



2016年度学位授与式

同窓会では、今年、

- 文学部 309名
- 国際交流学部 217名
- 音楽学部 79名

の卒業生をお迎えすることができました。



同窓会のグッズ販売

3月24日の卒業式と4月1日の入学式で、大学側のご配慮により同窓会コーナーを設けていただき、りてら、Fグループ、りべるての各同窓会のオリジナルグッズを、学生・保護者の皆様にご紹介と合わせ販売いたしました。りてらはすべての商品に校章が入ったサブバッグ、ポーチ、文房具、アクセサリー等、Fグループは、オリジナルファイル、書籍、CD等、りべるては、校章の焼き印入り三笠山をはじめ、校章入りカードケース、エプロン、エコバッグを販売いたしました。

卒業生には、フェリスでの思い出として、校章入りのグッズをお持ちいただき、新入生には、これからの学生生活のお役に立つようにと願いを込めてご紹介いたしました。それぞれの同窓会では、通信販売も致しておりますので、会報をお読みいただき、お申し込みをお待ちしております。



りてら会員の皆さま 会長 小澤 美智子 (1970)



皆さま、いつも同窓会の活動にご理解と協力を賜りありがとうございます。今春五二六名の新会員をお迎えし、総会員数一万九千二百五名となりました。

今年度第一回学年幹事会は、改修工事が完了したCLA棟で開催されました。会議終了後には大学のご好意でCLA棟の見学ツアーが催されました。とても明るく機能的、グループ学習やクティプラーニング授業に相応しい、おしゃべりな教室や施設への変貌ぶりに、幹事たちは感嘆の声を上げておりました。幹事それぞれの学生時代に思いをはせ、思い出話と共に新しいキャンパスで楽しいひとときを過ごさせていただく中、改めて教育環境整備の大切さを感じました。大学は施設設備の充実のため引き続き寄付金を募っております。今回については、CLA棟設備充実のお役に立てたため二百万円を「フェリスシヨップ」の会計より寄付させて頂きました。幹事会で承認された後に、六月十日の同窓会まつどいにて秋岡学長に目録をお渡しいたしました。

りてら「フェリスシヨップ」は二十年程前よりロコマーク入りのグッズを数種類製作・販売しております。利益は大学へのご寄付を目的に事業展開しております。学生・他部会・通信販売・教年前よりは学位授与式や入学式での販売

の機会を与えていただき、保護者の皆さまにも喜ばれております。文具類やタオルハンカチの定番商品に加え、ポーチやトートバッグもご好評をいただいております。どうぞ皆さまご利用くださいませ。

最後に嬉しいご報告でございます。一五〇周年記念事業の学院共通事業として、山手六号館を全面改修し、「一五〇周年記念館(仮称)」とする計画が進んでおりますが、青写真が見えて参りました。常設の資料館の他に、同窓会室を始め、同窓生が集えるセミナールームや女性のエンパワメント支援のために必要な施設などが計画されていきます。学生時代を山手で過ごした同窓生にとりましては、山手の地のような施設ができることは大きな喜びであると思います。同窓生と大学・学院の結びつきを一層強め、生涯教育の場として活用されることを期待したいと思っております。一五〇周年記念館(仮称)事業への皆さまのご支援とお支えをお願いいたします。二〇二〇年に向けて開催されます各種イベントにつきましてはホームページ等でご案内いたしますので、どうぞ皆さまお出かけくださいませ。

りてらはこれからも他部同窓会と協力し、記念事業を盛り上げて参りたいと思っております。大学や学院からのお知らせは全てりてらが一括管理しております。会員名簿にてお届けさせていただきます。皆様にご協力をお願い申し上げます。

大学祭実行委員会

委員長 込山朋恵 国際交流3年

同窓会の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

来たる2017年11月3日(金)・祝、4日(土)に緑園キャンパスにて、大学祭を開催いたします。

今年度のテーマは「Dear大切な人へ想いをこめて」です。「Dear」には「親愛な、心からの」という意味を持ちます。親愛、つまり親しみと愛情を込めた状態という意味です。今年度は、「大学祭実行委員会一同と参加団体が一体感を持ち、来場者の皆様とともに、あたたかい気持ちに満ちた笑顔あふれる大学祭を作り上げる」意図から、「Dear大切な人へ想いをこめて」をテーマとしました。

また、この「Dear大切な人へ想いをこめて」というテーマには、大学祭実行委員会が大学祭に関わる全ての人を大切な人として捉え、親しみをもち、協力して愛情をこめて心からのおもてなしをするという意味

Ferris Photo Club

主持 伊藤友里(国際交流3年)

「フェリスの良さを、写真を通じてもっと色々な人に知ってもらいたいよね」

この言葉をきっかけに、Ferris Photo Clubは現四年生によって、去年創部されました。初めは、部員が中々そろわず学生課の方に心配をおかけしましたが、SNSをつかって存在を知ってもらったことで、少しずつですが部員を増やすことができました。

Ferris Photo Clubは、現在18名で活動しています。活動は、主に、月一回の学外撮影会とミーティング、大学祭での来場者の撮影です。活動開始当初は、部員が少なかったことから定期的に活動を実施することができませんでしたが、今年度からは毎月行うことができるようになりました。

も込められています。これらは、フェリス女学院が創立以来掲げている教育理念「Our Ours」を、大学祭を通じて表現することで気持ちの伝わる大学祭になると考えております。

同窓会りてら様には、毎年ご出店頂いて大学祭を盛り上げて頂き、大学祭も毎年良いものへ発展しております。多くのフェリス卒業生のご支援は、大学祭実行委員会一同大変強いものと感じております。

また、元実行委員の先輩方、ぜひ同時期を過ごした皆様で緑園キャンパスにお越し頂き、赤いウィンドブレーカーを着たスタッフにお声かけください。そして励まして頂ければ、なにより幸いです。大学祭実行委員会一同、一丸となって大学祭を運営して参りますので、今後ともご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

末筆ではございますが、同窓会の皆様のご来場を大学祭実行委員会一同心よりお待ちしております。

キャンパスだより

した。学外撮影会では、それぞれが好きなものを撮影しますが、撮影後に、それぞれが撮影した写真を見せ合います。活動を通して、自分だけでは発見できなかったその土地の魅力を見つめることができ、毎回撮影地を大好きになれます。

写真は、すてきな場所やものを見つけようと思いつく行動しないと良い写真は撮ることができません。このことから、私は、普段の生活でも意識的に日常に沢山のすてきな瞬間を見つめることが得意になりました。写真部の活動を通して、「写真を撮ることで、毎日をより豊かにすることができる」ということをお伝えしていければと思います。



フェリス生の力



国際交流学部長 木曾 順子

フェリス女学院大学の国際交流学部
に赴任してから、今年で一四年目を迎
えました。私の研究分野は、インドやバ
ンラデシユなど南アジアをフィールド
とした開発経済学であり、経済学を専門
としない学生たちに、どのようにして熱
意と好奇心をもって学んでもらうのか
強い意気込みとともに少し不安を抱え
ての赴任でした。

さて、赴任後の印象は次のようなもの
でした。学生たちは真面目。休まず出席
し、熱心にノートをとる。当時の専門演
習(三、四年生を対象とする卒論執筆ゼ
ミ)の履修者は、私の講義に出ると、教
卓すぐ前の真ん中の席に頭を並べて座
り、熱心に聞いていました。ゼミのテキ
ストには予習によって線がひかれ、疑問
に思った箇所などには付箋がたくさん
付けられているという状態でした。JICA(国際協力機構)主催の「国際協力大
学生エッセイコンテスト」を紹介すると、
そこに果敢に臨むゼミ生もいて、エッセ
イ掲載にまで至ったこともあり、「なか
なかやるなあ」と力強く感じたのです。
また、その秋の大学祭でもかなり心強
い思いがしました。女子大で学ぶとはこ

ういうことか、と改めて感じたのです。
つまり、企画も事務も力仕事も、ソフト
もハードも、共学にありがちな性分業は
そこになく、担い手は基本的にすべて女
性。インカレ・サークル等の関係でしよ
うか、他大学男子学生の協力もいくらか
は見られました。彼女たちがてきぱ
きと判断・指示し、動く姿、そしてその
当時の展示に見られた社会意識の高さ
や幅広さにも、期待が高まったものです
。こうした学生たちの活躍には、昨年度ま
で学生部長の任を預かっていましたの
で、さらに多く触れる機会を得ることが
できました。上級生リーダーとして、学
友会メンバーや大学祭実行委員として、
また学会の運営委員として、そしてその
他諸々の立場で、多くの学生が舞台上に
立つだけではなく裏方として走り回る
姿に接すると、それぞれに悩み考えなが
らも、これからも自分らしいやり方で頑
張れ!と声援を送りたくになります。

最後にお知らせです。国際交流学部が
一九九七年に開設されてから、すでに二
〇年が経ちました。そこで二〇周年を記
念して、本年一月三〇日に講演会を開
催し、学部OGの方々に話していただき
ます。講演終了後は簡単な記念祝賀会も
催す予定です。同窓会の皆様にはぜひご
参加いただきたく、この場を借りてご案
内いたします。お目にかかるのを楽しみ
にしております。

CLA棟幹事会

今年度第一回学年幹事会がCLA棟に
て開催されました。棟内は明るく華やかで、
フェリスらしさがあふれていました。
幹事会後「昨年度に頂いた寄付によつて
壁やフロアが築かれました」と佐々木在事
務部長がおっしゃって下さり、和やかな雰

囲気のCLA棟ツアーがスタートしました。
特に一階のウェルカムセンターに展示され
た一九二一年当時の卒業証書(本科卒業生
寄贈)や校旗(一九二六年卒業生寄贈)に幹
事全員が目奪われておりました。
工事の完了したCLA棟はもちろん、中
庭には美しい花が咲き誇り、緑園キャンパ
スは一層魅力ある学び舎となっております。



CLA棟ロビー



CLA棟ツアー



中庭

りてら2016年度決算報告

(2016年4月1日～2017年3月31日)

●収入の部(円)

科 目	決 算
終身会費	1,260,000
預金利息	8,741
雑収入	0
収入小計	1,268,741
前年度繰越金	42,898,374
収入合計	44,167,115

●支出の部(円)

科 目	決 算
総会費	939,574
会報費	2,564,576
クリスマスカード	964,581
企画費	0
会議費	173,053
卒業・入学関連費	847,430
学祭費	0
大寄附	1,000,000
就職課支援金	216,000
交際費	25,768
会費	70,000
人件費	1,016,800
交通費	129,020
通信費	163,302
パソコン関連費	338,156
ホームページ関連費	142,302
リース費	64,800
印刷費	29,761
事務消耗品	97,730
手数料	3,506
備品	54,540
雑費	14,664
予備	0
支出合計	8,855,563
次年度繰越金	35,311,552
合計	44,167,115

*学院150周年事業一環CLA棟に20,000,000円(決済用預金より)

同窓生だより

みなさま、いかがお過ごしですか？ 大学卒業後、アナウンサーになり丸10年。幼少期を過ごしたドイツで見た、サッカー中継のリポーターが忘れられずアナウンサーを目指しました。はじめに就職したテレビ局は、テレビ静岡というサッカー王国にある会社。静岡で地元チームの応援をしながら、夢だったサッカーの番組に関わり5年が過ぎ「もっと大きなフィールドでサッカー番組を！」と衛星放送WOWOWのアナウンサーに。サッカー界では世界最高峰ヨーロッパサッカーの番組に出演し夢のような時間を過ごしました。サッカーだけでなく、錦織圭選手が準優勝した2014年の全米オープンテニスでは現地から生中継を担当させていただくなど刺激的なお仕事ばかりで、自分自身の成長を感じる日々。そんな中、今となつては運命の出会いとも言える出来事が。当時、WOWOWではアメリカのプロバスケットボールNBAの放送を始めて間も無く、番組MCをとオファーをいただきました。私を知っているバスケットは、子供の頃に読んだ漫画「スラムダンク」くらいで、とにかく不安。ただプロデューサーさんと話し合ううちに、初心者はどうバスケットボールに夢中になるのか体現してみようという明確なビジョンが見え、お引き受けしました。あれから5年。バスケット初心者だった私が、番組MCを経て、今ではコラムの執筆ま

木村 英里 (2007J)

で。私の生活の半分がバスケットボールなほど、その魅力にとどまり。

現在は、地元で恩返しをしたく、FMYコハマで番組を担当させていただいています。そんな時、日本でプロバスケットボールリーグ、B・LEAGUEが発足、運命と呼ぶべきタイミングでした。神奈川には二つのチームがあり、私は今、川崎ブレイクサンダースというチームの応援リポーターを務めています。チームがB・LEAGUE初代王者に挑む姿をリポートしてきました。残念ながら結果は準優勝でしたが、これからもバスケットの魅力、チームの魅力、選手の人柄などをお伝えしながら、バスケット界を盛り上げていきたいと思っています。

私のお仕事の中心には今、バスケットボールがあります。フェリスを卒業した10年前、まさかこんな未来が待っているとは想像もしていませんでした。苦手そう、未経験だからと扉を開かず諦めることは簡単ですが、開いた先に本当に出会うべきもの、運命の出会いが待っていることに気づくことができました。これからはバスケットボールと共に、私のアナウンサー生活は続いていきます。



新製品をご紹介します

リポントート (紺色) ¥1500



オープンポーチ



シャンテポーチ



各ポーチ
¥1000



スクエアポーチ
内側はゴールドです

フェリスグッズ

国際交流学部開設20周年記念事業のお知らせ

国際交流学部では学部開設20周年を記念し、卒業生3名による講演会と祝賀会を開くことになりました。学部を卒業されたみなさまの来場を、お待ちしております。

日時 2017年11月30日(木) 13:45~18:00(予定)
会場 グリーンホール
テーマ 「それから」

*国際交流学部が設立されてから20年。それから世界も、社会も、そして私たちも変わりました。「それから」何を体験し、何を感じ、何を考えたか。20年の間に、この学部で学び、そして巣立っていた卒業生が、それぞれの「それから」を語ります。

*詳細が決まり次第、大学ウェブサイトでご案内します。

*お手伝い募集

りてらの活動をお手伝いして下さる方を募集しております。詳細は同窓会室にお問い合わせください。

*住所変更のお願い

ご住所の変更がございましたら、りてらホームページ、或いはFAXにて同窓会室までお知らせください。

役員紹介

会長	小澤 美智子 (70J)
副会長	羽田 明美 (79J)
会 長	柊 聡子 (84J)
会 計	木村 貴美 (85J)
書 記	飯田 かほり (82J)
會計監査	渡部 正子 (70J)
	古谷 ゆかり (87E)
	並江 由佑子 (07J)
	高間 美鈴 (61E)
	横山 和子 (71E)

フェリスと私 1

フェリスの昔と今

藤江 峰夫

私がフェリス女学院大学に赴任したのは、一九八一年四月のことであった。横浜生まれの横浜育ちで、山手にほどちかいところで生活していた私であったが、実は着任するまでフェリス(山手キャンパス)がどこにあるかを知らなかった。フェリスの中高はももちろん知っていたが、あのカソリック教会の後ろに、まさか「大学」があるうとは想像もできなかったのである。

キャンパスに初めて足を踏み入れてからはカルチャーショックの連続であった。そこそこの規模の国立大学から転職してきた私は、先ずその敷地の狭さ、高校の図書室程度の広さしかない図書館、教員や学生数の少なさなどに驚かされた。一般教育担当の先生と英文・国文の教員を合わせても三十名足らず、学生数もその頃は一学科八十名定員であったから両学科合わせても六百五十名前後という規模の大学であったのである。



山手正門

間が近く、互いに顔見知りで、良くも悪くも家庭的というのが当時のフェリスであった。今思えば隔世の感があるが、最初に目にした国文の学生名簿は、当時の学科主任の桑川先生の毛筆による手書きであった。教材作りは自力でガリ版切りが当たり前というのが元の職場の日常であったが、フェリスにはコピー機があり、助手や副手(どちらも卒業生)が労を厭わずサポートしてくれた。三階にあった国文の共同研究室は、蔵書数は少ないながらも学科の専門に関わる基本的な図書が整備されていて使い勝手がよく、図書館分室のような機能も備えていた。教員も学生も共同研究室の大きな机を囲んで調べ物をしたり、ゼミの指導や卒論指導がおこなわれたりもしていた。昼休みになると、体育館に集まって卓球やジャズダンスで汗をながす教員の姿も見られた。狭い敷地の中で生活しているが故に、あちこちで人と人が交わる場が生まれていたのである。坂を下った元町もキャンパスの延長のような感じで、学生や教員にとって憩いの場であった。

この山手キャンパスで、私は「教育・研究情報システムセンター」の立ち上げに関わった。学内LANのはしりである。教務課や総務課が業務で使っていたオフィスコンピュータではなく、教員や学生が個人で利用できるパソコンを、ネットワークを介して外部のインターネットの世界に繋げると

いう試みであった。今ではiPhoneなどであり前のように出来るのが当時は結構面倒だったのである。

短大の家政科が発展改組して大学の文学部に国際文化学科が生まれ、音楽学部も開設され、大学全体の学生数が増加して山手キャンパスの手狭さがいよいよ看過できない状態になることを見越して、一九八八年に緑園キャンパスが誕生した。国文学科が日本文学科になり、国際文化学科が発展的に改組する形で国際交流学部国際交流学科が設置された。文学部にはコミュニケーション学科も加わった。これらはいずれも緑園キャンパスが開設されてからのことである。

緑園キャンパスは二〇〇一年に大規模な整備が行われ、文学部も本拠地を緑園に移し、国際交流学部と合わせてフェリス女学院大学のメインキャンパスとなった。図書館も今度は面目を改めて他大学と比べても誇ることが出来る立派なものとなり、使い勝手のよい明るい文学部棟や、階段教室のキダーホールも新築された。学内LANも拡充整備され、学生が利用できるPCの数は格段に増えて、図書館内でもPCが使えるという、現代に即応した体制が整った。今の学生がごく当たり前に享受している勉学の環境は、緑園キャンパスに移転することによって整えられたのである。

フェリスを取り巻く環境も刻々と変わっていった。横浜駅の二階にあった東横線が地下に潜り、MM21線が元町・中華街まで延びた。そして、開発が進んだ「みな

とみらい」がいつの間にか横浜の中心となっていた。

音楽学部も、楽理学科が音楽芸術学科に名称変更をし、音楽学科・器楽学科が演奏学科に改組された。文学部の英文学科が英語英米文学科に、日本文学科が日本文学科に名称変更したのはつい最近のことである。

それらのすべてを目にし、関わりながら、フェリス女学院大学と歩みをとともにすることができたことを私は感謝している。同窓生の方々は、どのキャンパスで学んだか、どの学科の学生であったか、どこが友達と遊ぶ場所であったかなどで世代を確認することが出来るであろう。ともあれ、同窓生の方々が青春の日々をすごした大学を、輝いていた時代を思い起こすすすがとすれば、この一文も無駄ではあるまいとして筆を措く。



緑園正門

りてら同窓会室

開室 毎週火曜日・木曜日 10時〜16時
(大学の春・夏・冬長期休暇中は閉室)
住所 〒245-8650
横浜市泉区緑園4-15-3

電話 0458812-86692
FAX 0458814-89966
URL <http://litera.grip.jp>
Eメール info@litera.grip.jp

りべるて

Vol. 29
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるて会員の皆さま、いつもへりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年も会報を発行できまことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげと、厚く感謝申し上げます。

「へりべるて」の歩みも29年目を迎えました。先生方の後ろ盾を失いながらも、この間、積極的な活動を続けてくださいました先輩方、また、ご支援いただきましたへりべるて会員の皆様に、改めて感謝申し上げます。

6月の総会に、昭和25年第一回ご卒業のお二人が出席してくださいました。学生時代を戦争の中で過ごされ、戦後、勉強することに飢えていて、何を学んでも本当にうれしく、先生方も熱心に色々教えて下さったそうです。授業の合間には映画を観たり、宝塚歌劇にも通つたりと充実した学生時代を過ごした思い出を、

楽しそうに皆さまにお話くださいました。出席いただけなかった多くの会員からも、もう一度山手を訪ねたいとのあふれるような思いを記したお葉書をお寄せいただきました。皆さまも是非機会をお作りいただいて、記念館にお運びくださいませ。お待ちしております。

同窓会主催の各種講習会は、毎回、好評裏に開催しております。参加者も、他同窓会を含め増加しており、とてもうれしく思っております。今年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

家政科は、1950年初めての卒業生を送り出し、1989年に発展改組となるまで約5500名の卒業生を送り出してまいりましたが、現在では、約4400名の会員へ会報やクリスマスカード等をお届けしております。お申し出いただければ、海外へも郵送しております。転居や地番変更等がございましたらへりべるて事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

2020年、フェリス女学院は創立150周年を迎えます。昨年同様、今年も募金趣意書を同封しております。学院全体で行う共通記念事業には、山手6号館の中に、卒業生も利用できる教室・セミナールームを整備し、卒業後も山手で学べる環境の充実を考えてくださっています。

大学の記念事業としては、全学部生を対象に4年間を通じて「新しい時代を切り拓く女性を育成する」この目標に向かって進んでいって、150周年記念募金に100万円を寄付させていただきます。総会において奥田義孝理事長に目録を贈呈させていただきます。

2011年に創設致しました「りべるて奨学金」は6年目に入り、多くの学生を支援して参りました。一人でも多くの学生がフェリスで学べますように願い、総会において秋岡陽大学長に目録を贈呈いたしました。

今年度より鈴木初枝(D44)さんに副会長をお願いいたしました。宜しく願いいたします。

「へりべるて」は、これからもフェリスと同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



行事予定

- 10月12日(木)
大森先生お菓子教室
- 11月2・3日(木・金祝)
りべるてバザー
- 12月9日(土)
クリスマス礼拝
- 2018年
- 1月31日(水)
矢吹先生北欧絵織物教室
- 2月7日(水)
大村先生
スタンドグラス教室

2017年度役員

会長	金子 和恵	D	51
副会長	小倉由紀子	D	43
書記	鈴木 初枝	D	44
書記	北村 周子	D	43
書記	遠藤木美子	D	45
書記	石井 克子	D	43
書記	池田 昭子	D	61
書記	村本とよ子	D	35
書記	岩江眞理子	D	51
書記	三藤 裕子	D	54
書記	倉掛 典子	D	55
書記	田原 吉子	D	57
書記	三浦由里子	D	64
書記	郷 佑美	D	43
書記	浅見 治美	D	45

特集 家政科記念館とりべるて



即ち家政科は歴史を創る者の側に立ったのです。したがってこの歴史を創ったものは七十名の家政科卒業生だと私は思っています。

真に歴史を創った者が歴史書にその名を現すことはありません。それが記録と言われるもの性格だからです。しかし事実は歴史の漂流に否定すべくもなく存在します。漂流なくしていかなる流れも生まれようがないのですから。

新たな歴史を歩み始めたフェリスが何処までそして何時までこのことを覚えてくれるかを私は知りません。

しかし、このこと、すなわち、家政科は歴史を創る側に立ったということは見えない家政科の記念碑として、家政科の卒業生が最後の一人になるまで語り継いでもらいたいと思います。

りべるては、1989年3月に最後の卒業生を送り出してから29年となります。家政科を発展改組するにあたり、当時学院長でいらした中島省吾先生と家政科の先生方は何度も話し合いを重ねられ、その中で、家政科卒業生5500名余のことを第一に考えて、断腸の思いで家政科を閉じられました。そのお気持ち、を、学科長でいらした故五十川周作先生は、次のように記されています。

歴史を創る者へ 学科長 五十川 周作

家政科は今年度限りをもってその歴史を閉じます。四年生の国際文化学科として新たな歩み始めるからです。

家政科はその最高の社会的評価と共に山手の一等地に位置する華麗な校舎と校地、及び家政科がこれまで蓄積してきた資金の全てをフェリスの新しい歴史の流れの中に投入しました。

改めて読ませていただきますと、先生が家政科の伝統を踏まえて、これからの同窓会へ贈られたお言葉であると感じます。

1989年3月11日、短期大学家政科記念パーティに、当時学院長でいらした故中島省吾先生（当日は学術会議のパネラーの為ご欠席）よりお寄せいただいた以下の文章をお読みください。

学院長 中島 省吾

（前略）フェリス女学院における家政教育の意義は学院の歴史において忘れられてはならない重要な、また、ユニークなものであったと思います。そのことを具現していた「家政科」の歴史が閉じられることは大変寂しいのですが、現在の日本の法律と行政のもとでは、大学で新しいプログラムをつくり学生を受け入れるためには、その学園の高等教育部門のどこかで学生の数を減らさねばならないことになっているために、大学文学部国際文化学科を生み出すには、短期大学家政科の発展的改組という形を取らねばならなかったのです。

その結果として、皆さんの同窓会はその母体としての学校の歴史の終わりを見届けられることになりました。会員の皆さんのお気持ちをお察し申し上げると、責任者の一人として、私は身のおきどころがない思いを抱きます。ただひたすら、関係者各位のうえに、上りの慰めと励まし、御祝福が与えられるようにお祈り申し上げます。

ところで、「家政科」の歴史は閉じられても、「家政科同窓会」には、これまで以上に、活動して欲しいと希望し、また、期待しています。幸いに、家政科記念館も設けられました。六号館その他の学院の施設も学事に支障がなければお使い頂けます。

総会のみならず、学年別にも、サークル的にも、いろいろな会合その他で学院に顔を見せて下さい。その時こそは、お邪魔でなければ、お伺いして、御歓談に耳を傾けさせて頂きたいと願っています。

皆さんのうえに上りのご平安を、また、貴同窓会の今後の活動のうえに御祝福を祈り上げます。

一九八九年三月十一日

このように温かい思いをその後も常に私どもへお寄せ下さいました。お会いするたび、「何か力になれることはないか？」とお声をかけて下さいました。今回お二人の先生のお言葉を読み返してみますと、家政科卒業生が如何に皆様から愛され、守られてきたかがよくわかりました。

私も、2年間という短い学生生活でありましたが、柔軟な考え、自分の意見を持ちつつ他人にも配慮できる協調性、そしてFor Othersの精神を学ばせていただきました。卒業生の多くは家庭を守り、人生の大半を家族や周りの方々へ、まさに家政科で学んだ全てを実践されています。

これほどの素晴らしい教育を受けることができ、私たちは本当に幸せです。

いつかは、山手に……と想う卒業生がたくさんいらつしやることもフェリスでの2年間が青春時代の輝かしい時であったかを表していると思えます。

今回の特集「家政科記念館とりべるて」を載せるにあたり、先生方のお書きになった文章を改めて読み直しますと、いづれ消える同窓会ではありますが、最後の一人になるまで、心に留めておきたいと思えました。

お菓子教室

11月10日、大森いく子先生のお菓子教室を開催いたしました。



今回は教えていただいたのは、先生の工夫がたくさん詰まった、いちご大福とクリスマスフルーツケーキです。いちご大福が家庭でできるのには驚きましたが、先生のご説明通り順番に造りますと、和菓子屋さんにも並んでいる商品のように、参加された皆さんもとても喜んでいらつしやいました。材料も切り餅二切れで、いちご大福が四つできますので、ちょうど食べきれれる量です。イチゴの代わりに栗を入れますと栗大福になり、また、餅のなかに塩エンドウと餡を入れれば豆大福と、バリエーションも広がります。クリスマスフルーツケーキは、一つ分の材料を小さなパウンド型3個に入れて、上のトッピングを変えるというものです。ナッツやドライフルーツ、コーティングのチョコレートやフォンダンをご用意いただいたので、それぞれ好みのデザインで作りました。



フルーツケーキは日持ちもしますので、一度に造りブレゼントにも最適とお教えいただきました。

大森先生のレシピはいつも作りやすく、身体にやさしい材料をお使いになりますので、毎回楽しみです。皆さまもぜひご参加ください。

ステンドグラス教室

2月8日、浜松から新幹線・横浜線・根岸線と乗り継いで石川町の駅へ、寄宿舎2年間に共に過ごした大切な友人とそこで待ち合わせ、家政科記念館へ向かいました。



授業の実習時を彷彿とさせるような参加者からの熱気の中、初めてのステンドグラス作りが始まりました。すでにこの教室で作品を幾つか作られた方もいらして、お話を伺う内、和やかさも増してゆきました。ひとつひとつきれいに整えられたガラスのパーツをハングで継ぎいでゆくのは楽しく、出来上がった13cm四方のプレート

トが手の中で光る様子は愛おしく感じられるように、干支の酉に因んだ鶏のデザインは、海外生活を経験された大村先生とお嬢さんのセンスが映えた物で、針金で造って下さった嘴や目玉、趾といったパーツを添えた事でユーモアも加味され大満足な作品となりました。



当日一日限りで仕上げまでという工程は、先生方の御配慮と下拵えに係る膨大な努力があったの企画と想像され、大変有難く存じました。「女性活躍と大きな掛け声が響く今日ですが、人の皆の足元として「家政」を大切に捉えられるようフェリスで学ばせていただいた事が、今は誇らしく思ひ出されます。

役員の皆様が同窓生の為の運営を志高くなさって下さる事に心から感謝致します。

(白坂道子 D 50)

北欧絵織物教室

家政科記念館の梅がほころぶ3月1日。矢吹恵子先生の講習会がありました。この数年出席して居りますが、今年はこの様な物を教えていただけるかと、ワクワクしながら門をくぐりました。



今回は、麻糸を使った花の刺繍とスワロフスキーのビーズや艶のあるトルコ石等を加えたシックな雰囲気「花々のブローチ」でした。

特に、お教室で使用する北欧の麻糸は、色が自然でとても深みのある美しい糸ですので、何とも言えない素敵なおブローチができていきます。細かい刺繍は、先生にご指導いただきながらの、楽しくも必死な時間で、あっという間に過ぎてしまいました。必要なステッチを教えていただき、覚えて帰り、残りは自宅製作という事になりました。

矢吹先生は、私が最初にお会いした頃とお変わりなく魅力的でいらして、年に一度お会いできるのも楽しみの一つです。



卒業した今も、この様な素晴らしい機会を設けていただき、感謝申し上げます。役員の皆様いつもありがとうございます。

(植田恭代(D46))

ビーズ教室

梅雨の晴れ間の7月6日小倉志保子先生(D43)のビーズ教室を開催いたしました。

年に一度の教室ですので、初回から参加の方は13個の作品を作られたことにならしく、難しいテクニクをあまり使わなくても世界に一つの素敵なお作品を作ることが出来ます。



今回先生がデザインしてくださった作品は、夏にピッタリのターコイズカラーのネックレスです。ソロバンの玉の形のビーズを織るように編み上げてヘッド部分を作り、メガネ止めのテクニクを使いビーズやチェーンを繋げてネックレスに仕上げるものです。作図通りに色を選びながら作りますが、久しぶりで、自分が今どこを作っているのかわからなくなり模様が繋がらず、何度かやり直しながら、そして、先生にお手伝いいただきながら参加した皆様は、3時間程で自分の好きな長さに仕立てたネックレスを仕上げる事が出来ました。先生は、テグスの引き加減や要所をきちんと押さえて作る綺麗な作品になると教えてくださいます。どうぞご参加くださいませ。

来年は、7月5日(木)を予定しております。どうぞご参加くださいませ。

大学生のための ビーズ教室

2016年度学生課主催プログラムに協力して、『ビーズ教室』を、12月1日、家政科記念館で開催いたしました。講師は、りべるてのビーズ教室でもステキな作品を教えてくださいと、小倉志保子先生にお願いしました。

授業を終えてから初めて家政科記念館を訪れた学生さんたちは、短期大学家政科が30年前に発展改組されて現在の国際交流学部へとつながる歴史を興味深く聞いてくださいました。

今回小倉先生がデザインしてくださいました作品は、白とシルバーの丸い花型ボールと、白い輪を作りチェーンでつなげてネックレスにするというものです。先生の作図どおり順番に白とシルバーのビーズを通すのですが、一つ間違えるとボール型にならず、正しいところまで戻ってはまた直し直すというのを繰り返すことになりました。ビーズは初めての皆さんも、先生の丁寧な指導で時間内に完成させ、鏡を見たり写真を撮りあったりとても喜んでくださいました。製作後には、お茶を飲みながら、先生が学生時代や近況を楽しく話してくださり、笑い声の絶えないティータイムでした。



りべるてバザー

11月2日(木)・3日(金)・祝家政科記念館においてバザーを開催いたします。バザー当日に販売します未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださいますようお願い申し上げます。

尚食料品・衣類は除外させていただきます(配達不可)

●受付期間：11月1日まで

●受付場所：毎週木曜日

●受付場所：家政科記念館

〒231-8651

横浜市中央区山手68

家政科同窓会りべるて宛

フェリスグッズ

- エプロン (黒・赤・茶・ピンク) 各2,000円
- クリアファイル (2枚組) 100円
- エコバック (黒・赤) 各500円



40×29×16cm

《グッズ申し込み先》家政科同窓会りべるて
Tel. Fax 045(662)0750

■2016年度決算報告書 (2016年4月1日～2017年3月31日)

科目	金額
収入	
受取利息	16,049
業務費(グッズ販売、バザー)	564,510
金の他	0
の計	0
小計	580,559
前年度繰越金	9,633,202
合計	10,213,761
支出	
奨学金基金	500,000
交際費	0
寄附金	86,779
事業費(グッズ)	33,086
その他	0
小計	619,865
次年度繰越金	9,593,896
合計	10,213,761
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,662,000
定額貯金(向上)	3,027,000
通常貯金(向上)	1,224,148
通常貯金(向上)	798,419
普通預金(横浜銀行)	873,146
定期預金(横浜銀行)	1,099,177
合計	9,593,896

■2016年度運営費報告書 (2016年4月1日～2017年3月31日)

科目	金額
収入	
基金運営費(学院より)	2,694,060
合計	2,694,060
支出	
消耗品費	1,793
旅費・交通費	335,450
通信・運搬費	1,145,318
印刷・製本費	871,551
報酬・手数料	2,022
会議・会合費	105,756
諸会費	97,870
渉外費	41,515
雑費	92,785
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,694,060
収入-支出	0

■2017年度予算 2017年3月31日

科目	金額
消耗品費	120,000
(事務用)	10,000
(その他)	110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費	940,000
(郵便料金)	930,000
(宅急便)	10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,662,000

会長 金子和恵
会計 石井克子
池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2017年5月18日

監査 柳 佑美
浅見 裕美

お知らせ

来年度は、家政科同窓会りべるてとなり30周年を迎えます。2018年秋に記念の会を開催いたします。詳細は追ってお知らせいたします。

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。

TEL・FAX 045-662-0750 (第一木曜日は閉館)

Fグループの皆さま

会長 小林 周子 (29回)



会員の皆様、お健やかに過ごすごのと存じます。いつもFグループの活動へご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

音楽は大学で学んだことを引き続き生活の中で生かしていくことがしやすい分



音楽による教育への思いと音楽学部のミッション
音楽学部長 立神 粧子

Fグループの皆様、日頃の音楽学部へのご支援に心より感謝申し上げます。

昨年は宇野紀子名誉教授より、「学生に良い楽器で良い響きを勉強させてほしい」と、新品のスタインウェイのご寄贈がありました。山手8号館のアートサロ

野であるだけに、昨今の音楽教育を取り巻く環境の厳しさを肌身にしみて感じています。しかし私達は音楽の力を信じて過去を振り返りつつも将来に思いを馳せて前進していきたいと思えます。

そのことを表すようにリニューアルされたホームページが4月よりオープンされました。同窓会活動や卒業生の活躍、大学からの情報をいち早くお届けできるとともに、同窓会の歴史を会報のバックナンバーや音楽会のパンフレットなどから読みとることが出来ます。母校や同窓生に思いを寄せてくださった先生方の言

ンで、日々感謝しつつ大切に活用させていただきます。また昨年、二年ぶりにメサイア公演

が実現しました。公演を可能にしたのは熊本在住の篤志家の方によるご寄付です。この方は、かつて中田喜直先生の追悼番組の中で音楽学部生がフェリスホールで《夏の思い出》を歌う様子をご覧になり、その歌声と音楽学部の教育に感銘を受けたいです。定年退職されたのち、「音楽学部の教育のために」とご寄付を持参されました。その貴重なお志を受けて音楽学部ではメサイア公演を復活させ、熊

葉が宝石のようにちりばめられています。どうぞホームページを身近に感じていただき、ご利用いただければと思います。またこの場を借りて多大な努力、膨大な時間をかけてホームページの制作を担当してくださった一人の同窓生に心からの感謝を申し上げます。

学院は2020年の150周年に向けて準備が進んでいますが、Fグループでもそのための募金コンサートを企画しています。念願であった卒業生による弦楽アンサンブルとソリストでのコンサートが実現します。ジョイントコンサートとともにご期待ください。最後になりましたが、皆様のご健勝を

本の復興のために支援金を募り送りました。公演ではご寄付の趣旨に沿うように、ソロを歌う学生をオーディションで選びました。選ばれた3名の学生は声楽教員と並んでステージに上がり新鮮な感動を与えてくれました。星野教授の指揮、教員・副手を中心としたオーケストラ、学部を超えた学生による合唱、東京藝術大学からの男声合唱、そしてエキストラの

演奏家の方々がひとつになり、昨年のメサイアは篤志家の方のお志に象徴される心豊かな音楽であったと思います。フェリスホールはメサイアの響きに包まれ、まるで歴代の校長先生や学院長が勢揃いして笑顔で聴いておられるような錯覚を

祈るとともにかわらぬご支援をお願いいたします。

～Fグループ ご寄付のお願い～

創立150周年記念 募金コンサート

2017年11月4日(土) 16:00 開演
フェリスホール

上記日程で行いますコンサートに伴い、卒業生の皆様からのご寄付を頂戴できれば有難く存じます。一口2,000円からお振込みにてお受けいたします。通常のFグループへの寄付も受付けております。皆様ご協力の程、よろしくごお願い申し上げます。

〈振込先〉ゆうちょ銀行 00280-3-75184

〈加入者名〉Fグループ

通信欄に「150年寄付」「Fグループ寄付」
どちらかをご記入ください。

持ちました。日本初のミッションスクールの「音楽によるミッション」は、こうした素晴らしい感動を人々に与えることと確信した夜でした。

私たちはフェリス女学院の長い歴史の一部です。その歴史は一人一人が全身全霊で自らの使命を全うすることで繋いでゆけるものと思います。いま大学における音楽教育は大きな転換期を迎えています。社会が音楽学部は何を求め、私たちは音楽の教育を通して何を伝えたいのか、どのような女性を世の中に送り出したいのか、抜本的に問い直す時期にきています。皆様には今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

ジョイントコンサート

16年9月10日(土) フェリスホール

9月に入っても未だ暑さが残るなか、フェリスホールにてジョイントコンサートが開催されました。

今回は、例年より多くの応募があり、7組の卒業生が演奏してくださいました。3名のピアノ演奏、ソプラノ独唱、二重唱、オルガン演奏、ヴィオラ・ダ・ガンバ二重奏といった、多種多彩な音楽を楽しむことができ、美しい音色がホールいっぱい響き渡りました。

今年9月16日(土)

16時から山手フェリスホールにて開催します。今年も7組の卒業生が演奏してくださいます。

皆様お誘い合わせのうえ、ぜひ足をお運びくださいませ。



担当 小清水桃子(55回)

『16年度出演者』

澤田紀子(57回Pf) 森永美穂(48回Vo)
尾藤万希子(51回Pf) 新田裕里子(61回Pf)
小泉美千代(44回Vg) 金子明子(43回Vg)
中川葉音(57回Org) 石井きょう子(33回Vo)
福井早枝子(賛助Vo) 熊本美也子(17回Pf)
井手沙耶花(53回Pf)

『ジョイントコンサート出演者募集』

Fグループ会員でしたら出演できます。書類審査がございますので、Fグループ事務局にお問い合わせください。

研修会

16年11月12日(土) フェリスホール

昨年フェリスホールにて、秋岡学長によるFグループ研修会『主に向かつて新しい歌をうたおう!』が開催されました。日本でのように伝えられてきたかというお話

のもと、歌い継がれている賛美歌をオルガン・スト小清水桃子さん(55回)による演奏に合わせて、ご来場いただいた大勢の方々と共に、たくさん歌うことができました。



まるで、どこか教会にでもいるような温かい歌声に包まれた時間でした。

当日、足を運んでくださった松原葉子さん(45回)が作られた賛美歌も最後に歌うことができ、とても恵まれた会となりました。

担当 瀧口めぐみ(43回)

第3回 山手の丘合同発表会

17年3月20日(月・祝) フェリスホール

弥生のうらかな日、発表会は第3回を迎えました。毎年楽しみにされている方も増え、63組の参加者がピアノ、声楽をご披露くださいました。

舞台が初めてのお子様、音楽の道を志す学生さん、趣味悠々と楽しまれている方など、多彩な参加者が音楽と真摯に向き合うお姿に感銘いたしました。

小清水桃子さん(55回)の特別演奏「パツハト短調」の調べは、会場を魅了していました。お手伝いくださった同窓生も母校で輝いていらして素敵でした。



今年も秋に募集が始まり、3月開催の予定です。皆様のご参加をお待ちいたしております。

担当 米田悦子(35回)

学年幹事会

17年4月13日(木) 6号館カフェテラス

山手6号館のカフェテラスにおいて、学年幹事会が行われました。出席人数は30名、委任状は57通でした。

16年度一般会計収支報告書(仮)及び、会計監査報告、17年度一般会計収支予算書(案)について承認が行われた後、各役員から、16年度諸活動の報告がありました。



例年、3月に行われる学年幹事会ですが、今年4月に開催ということもあり、桜の花が満開の中、お天気にも恵まれて和やかな雰囲気で開催しました。

ご参加いただきました幹事の皆様、ありがとうございました。

担当 廣田晴美(53回)

音楽の贈り物

~フェリスホールコンサート~

♪ジョイントコンサート

2017年9月16日(土) 16:00開演
全席 1,000円

【出演】

森本真菜(55回Pf) 高橋牧子(賛助Pf)
亀岡聖子(49回Vo) 穴戸恵美子(賛助Pf)
犬飼美奈(48回Vn) 久保井明子(31回Pf)
岡部ゆかり(30回Vo) 岩男潤子(47回Pf)
笹本有子(44回Pf) 阿久津世千子(36回Pf)
小瀧美穂(42回Vo) 佐々木淑子(36回Fl)
榊原緑(28回Pf)



♪150周年記念 募金コンサート

2017年11月4日(土) 16:00開演
前売 3,000円 当日 3,500円

【曲目】

J.S.バッハ 幻想曲とフーガト短調 BWV 542
ショパン ピアノ協奏曲 第2番 op. 21
シューベルト 弦楽四重奏曲 D810
『死と乙女』弦楽合奏版

【出演】

オルガン: 小清水桃子(55回)
ピアノ: 中野真帆子(34回)
弦楽合奏: Fグループアンサンブル

♪第4回 山手の丘合同発表会

2018年3月21日(水・祝) 10:30開演予定
入場無料

【参加者募集】

応募期間 2017年9月1日~12月13日
参加資格 Fグループ会員
Fグループ会員のレッスン生

お問合せ・お申込み Fグループ事務局
045-681-6740(木曜日10時~17時)
E-mail: ferris@fgroup.jp

支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子(30回)
北海道と東北6県にまたがる北支部：広いので、活動することが簡単ではなく、ゆっくりペースで進んでおります。他の支部と比べて動きが鈍いので、いつも心苦しく思っております。

今年、札幌での同窓会コンサート開催を予定しておりますが、残念ながらまだ詳細は決まっております。来年は良いご報告ができるよう準備に勤しみます。

開催となりましたら、何らかの方法で皆様にお知らせしたく思いますので、ご都合が宜しければ、ぜひ観光がてら北海道での演奏会にお出かけください。

中部支部

支部長 牛込 まり(25回)
昨年の「ふれっしゅ」は、大勢の同窓生が出演してくださり、華やかなコンサートになりました。

秋のコンサートは、落合先生が出演されること知られるようになって、大勢のお客様が来てくださいました。横浜在住の同窓生の出演もありました。

ジュニア・シニアコンサートも賑やかでした。

今年「ふれっしゅ」は、新卒の枠を外して、黒川先生と同窓生のコラボにな



ります。

秋には落合先生の出演が決まっていますので、贅沢な一年になりそうです。快く出演を引き受けてくださった両先生には心より感謝です。

同窓生の皆さんに出演の機会をお知らせする方法を模索中でしたが、なんと中部支部にメールアドレスを新設！

FグループHPからも直接問合せ可能。E-mail: chubu@fgroup.jp

関西支部

支部長 桐山 恵子(33回)
2016年は、6月22日に京都鴨川

のぞむ老舗「フナツル」にて、関西支部総会を開催いたしました。

同窓会総会でいただいた最新の情報をシェアし、フェリスの将来に胸を躍ら

しました。

また、初参加の方をお迎えすることができて、親睦の輪の広がりを喜びました。

今年7月1日(土)の開催です。

今後も、お一人でも多くの会員に、ご参加いただけるような工夫を重ねていきたいと考えております。

九州・山口支部

支部長 牛島 惇子(19回)
Fグループ九州・山口支部は、主な活動として年に一回演奏会をしています。

前回は、加未徹先生をお招きし、在校生、卒業生とのジョイントコンサート

を7月1日「あいのれふホール」にて開催しました。

大勢のお客様に来ていただき、先生と

のデュエットや室内楽を含めた多彩なプログラムで好評を得ました。

今回は7月2日に、戸田先生、堀先生を迎えてのコンサートを開催いたします。

例年秋には、西南支部同窓会総会があり、分科会ではFグループの活動報告をいたしました。今年音楽学部担当です。

11月2日にホテル日航福岡で行います。

コンクール受賞ご報告

*岩男潤子(47回)&笹本有子(44回)

第10回フレッシェ横浜音楽コンクール

連弾S部門 金賞、審査員特別賞受賞

第20回国際ピアノデュオコンクール入選

*中川彩(61回)&遠藤夏季

第17回大阪国際音楽コンクール連弾部門

最高位受賞

新役員紹介

企画 尾見 恵美(45回)

常任A 岡田はるみ(29回)

常任B 廣田 晴美(53回)

WEB担当 土屋 友紀(48回)

Fグループ同期会だより

● 毎年11月にクラス会をしています。

● 今年は元町「梅林」でのランチ会。パリでご活躍Monty堀中さんもご出席。4年前は九州旅行をしました(22回)

● 5月に東京「四川豆花飯荘」でクラス会をしました。3年に一度位しています。

● 毎回出席者は20名程。6代からの生き方を学ぶ機会を得たと思います(25回)

● 3年に一度、同期会をしています。前は丁度、還暦でした。ランドマークタワー「四季亭」に九州、愛知、群馬からの参加もあり23名出席。卒業40周年の節目に記念誌を作成しました(27回)

● 同期で「グループ75」を結成し、希望者がコンサートをしています。次回は、来春に予定しております(28回)

● 今年は10月1日「崎陽軒」にてランチ会をいたします。前回は40名程集まりました(29回)

● 毎年、海の日に同期会をしています。昨年は「イギリス館」で順番に演奏した後、お茶会をしました(34回)

● 卒業して30年。初めての同期会を「山手ローズガーデン」で行いました。遠方含み25名の参加者が集いました(35回)

● 毎年秋にミニコンサートとランチ会をしています。昨年は6号館の教室を借りてのランチ会をしました(36回)

● 同期会など、同窓生お集りのご報告をお待ちいたしております。

装い新たに内容充実!
Fグループホームページを
ぜひご利用ください

<https://fgroup.jp>

Fグループ2016年度決算報告

(2016年4月1日～2017年3月31日)

〈収入の部〉		(単位:円)
科目	決算額	
終身会費	3,838,920	
総会費	64,000	
ジョイント会費	251,500	
研修会費	111,000	
ティータイム会費	0	
合同発表会費	509,300	
同名シール	900	
ハートフルコンサート	89,790	
グッズ販売	146,880	
寄附金	125,000	
雑収入	60,290	
小計	5,197,580	
前年度繰越金	1,910,967	
収入の部合計	7,108,547	

〈支出の部〉		(単位:円)
科目	決算額	
(1) 運営費	1,702,862	
会議費	4,252	
印刷費	27,660	
通信費	155,746	
人件費	725,180	
交際費	30,400	
事務・消耗品費	77,797	
備品費	102,426	
出張費	17,790	
交通費	304,500	
学幹事会費	45,689	
特別委員	0	
雑予備費	11,232	
予備費	200,190	
(2) 活動費	1,899,398	
総会関係費	376,970	
研修会関係費	45,995	
ティータイム関係費	0	
会報関係費	586,979	
ジョイント関係費	93,711	
リサイタル関係費	34,000	
支部関係費	495,400	
慶弔関係費	53,949	
合同発表会関係費	175,394	
予備費	0	
ハートフルコンサート交通費	37,000	
(3) 諸会費	370,000	
連絡会維持費	70,000	
維持協力会費	300,000	
(4) 積立金	0	
名簿積立金	0	
積立金	0	
『山手の丘』再版用積立金	0	
(5) 予備費	0	
支出合計	3,972,260	
次年度繰越金	3,136,287	
支出の部合計	7,108,547	

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2017年3月23日
Fグループ 会計監査 熊本 美也子 楠瀬 由佳理

先日、マーティン・スコセッシ監督が30年の歳月をかけた『サイレンス』（原作・遠藤周作の『沈黙』）を見ました。私は日頃イエズス会聖フランシスコ・ザビエル教会で奏楽の奉仕をしていますので、この映画は大変心に響きました。残酷なキリシタン弾圧下、使命を揺るがされた宣教師達の苦悩を鮮明に描いています。そこでは、踏絵を踏むか否かの問題ではなく、真の信仰が問われています。この出来事は一方で、異国のオルガンストナのに、なぜ今日までキリスト教



〔プロフィール〕
横浜生まれ 日本基督教団鎌倉会下の下教会で受洗
フェリス女学院短期大学研究科ピアノ科卒業
ルウェルンとウイーン音楽大学にて教会音楽とオル
ガンを専攻し学位を取得
スイス永住権を得て、チューリッヒとルツェルンで
オルガニスト兼、ピアノ教師に専念

で勤め続けてこられたのか?という自問とも重なります。美しいバロック建築や優れた音響の会堂で奏楽できる喜びにすっかり魅了された私は、日本へ帰れなくなりしました。最近、漸く礼拝音楽の根本的な姿勢に目覚めさせられています。その一因は、讃美歌と一緒に歌える若い信仰者が教会から離れている点にあります。まさに、人と共に神に讃美する事を問われている瞬間です。私は神学者の言葉を真に理解し、心の内から演奏しきれていない自分に多々悔やんでいます。まず、会衆に伝えたい事と真摯に向き合い、そして「神の沈黙」に惑わず「神の問いかけ」に応えられるような音楽奏者を目指して歩みたい日々です。

卒業生だより

上野 睦(29回)

フェリス音楽教室
子どもたちとともに62年
60周年を終え新しい
ページが始まりました!
大人向けレッスン受講生募集中

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

〈山手教室〉
045-212-2396
〈緑園教室〉
045-813-1070

http://www.ferrismusicinst.org

Fグループ事務局(木曜10時〜17時)

*募金箱に頂戴した2,000円、山手6号館602教室利用者からのご寄付54,700円、合計56,700円を音楽学部へ寄付いたしました。

皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

*山手6号館602教室にはピアノがあり、同窓生が伴奏合わせや同期会などに利用できます。詳細は事務局までお問合せください。

*フェリス校章は、学院の内規により、使用方法が規定されています。ご使用をご希望の場合は必ず事務局にご申請ください。

*宛名シールの印刷、演奏会の後援をいたします。事務局にご連絡ください。

*住所・姓・電話番号の変更・慶弔(先生・同窓生)などをお知らせください。

〒231-8651 横浜市中区山手町68
Tel. 045-681-6740

〈メールアドレスが新しくなりました〉
E-mail ferris@group.jp

Fグループ会報編集
米田 悦子(35回) 八木 笑子(39回)

グッズのご紹介

Fグループでは、校歌CD、クリアファイル等、オリジナルグッズを揃えています。また、故倉長治子先生の自叙伝と同窓生の著書も扱っております。この度、クリアファイルに使いやすいA5サイズを加え、多くの方々にご好評いただいております。

Fグループホームページや事務局から購入可能です。Fグループ主催のコンサート会場でも販売しておりますので、ご来場のうえお求めください。

担当 太田三美(35回)



(各2枚組)
A4 300円
A5 400円

同窓会支部だより

東京支部

今年も東京支部の活動をご報告させていただきます。昨年十月六日、例年と同じ浜松町東京會館で総会が開かれ、学院からは新しく中学高等学
校校長に就任された廣瀬政明先生がご出席下さいました。山手校舎は次々に新しい建物へと変化を
とけていますが、関東大震災後の復興時からの三つの建築理念「真つすぐに」「強く」「美しく」は校舎の外観のみならず、生徒達の精神面においても素晴らしい教育理念として、しっかりと引き継いでいくべきだとお話し下さいました。

午後の講演は法政大学教授、宮城まり子先生（S一九六）による今日は人生の中で一番若い日……長い人生を展望した人生設計を考える……人は死ぬその日まで生涯、変化し、成長、発達する存在であるとのこと。長い老後に向けて明確な目標を持って「生涯育自」を心がけなくてはと、出席者は皆、心を新たにしたいとときでした。

十一月十七日は山手の白菊会同窓会室をお借りしての読書会「芥川龍之介、漱石との出会い」（宮坂覺先生）、一月十七日の新春歌舞伎 三月三十一日のお花見、五月十七日の大人の遠足（すみだ北斎美術館）など各同窓会の垣根を越えた和やかな催しでした。

今年の総会は十月五日（木）、午後は田中順先生をお迎えして楽しい歌の集いです。多くの皆様のご出席をお待ちしております。

支部長 多賀 礼子

関西支部

昨年の支部総会は11月9日、神戸の北野ホテルで開催されました。鈴木学院院长、衛藤白菊会会長がご出席くださり、総勢44名、熟年から若い方まで、約50年の年の差も何のその、にぎやかな会でございます。又、昨年は関西支部創立90周年にあたりました。その間、30年もの間、幹事、支部長として関西支部を牽引してくださいました清水操前支部長に感謝申し上げますと共に、100周年に向けてさらなる輪の広がりを若い方々に託しました。

こんな一幕がありました。

「え!!フェリス女学院!!」と、びっくり眼で受け付けにかけ寄ってこられた方、お聞きすれば、中高の卒業生で東京在住、ご家族とご旅行中で、たまたま北野ホテルにお泊まりだった由、思わぬ出会いに、ひととき話がはずみました。

年齢の差、地域の差を問わず、すぐに打ちとけられる同窓生仲間です。

さて、今年は京都です。南禅寺近くで、秋は殊の外きれいなエリアでの総会です。ご一緒に京都の秋とおしゃべりを楽しみましょう。

支部長 磯野 和美
29年度関西支部総会のご案内

日時 11月8日（水）午前11時受け付け

場所 桜鶴苑 Tel.075（771）4111

地下鉄東西線蹴上駅一番出口より徒歩5分

申し込み先 shimizun@kyoto.zag.ne.jp

住所、氏名、卒業年度、学部を明記のこと

西南支部

昨年の同窓会は十一月十二日、西鉄イン福岡で開催されました。レストランは十三階で博多湾が一望できる場所でした。

フェリス女学院院長 鈴木佳秀先生をお招き致しました。鈴木先生は熊本でお生まれになり、高校時代は福岡でもお過ごしとのことでした。

また、思いがけず本部同窓会より白菊会の衛藤怜子会長がご臨席くださいました。

同窓会はベルリリーズのハンドベルの演奏で始まり引き続き礼拝、総会が開催されました。鈴木先生には、「レビと司祭による魂のみ」と題してご講演をいただきました。旧約

聖書の世界から、個が重視されるこの頃Oldersの精神の大切さをお話いただきました。会食は和やかな時間となり、衛藤会長には同窓会本部のお話を伺いました。ここ数年恒例の分科会では、各同窓会で集まり様々なお話が出て交流の場として盛り上がったようでした。

同窓会開催地は福岡が主になっておりますので出席したくても遠くてと、お思いの方もいらつしやるかとは思いますが、是非お出かけくださいませ。

平成二九年度西南支部同窓会総会は十一月二日に福岡日航ホテルで開催いたします。幹事は音楽科です。

初めての方もどうぞお気軽に、そしてたくさんの方々にお集まり頂けますよう楽しみにお待ちしております。

支部長 菊竹 美枝

フェリス白菊会より

主のみなを賛美します。

新しくなった中高2号館に同窓会室を与えられ、一年間活発な活動を行うことができました。また、昨年は同窓会連絡会の担当として、各同窓会支部の総会に出席させていただきました。横浜から遠く離れた地で、フェリスの名のもとに年代を超えて集まり、親睦を深めておられることに感激しました。首都圏以外のフェリス白菊会の会員は少ないのですが、同じフェリスで学んだ仲間として集いに参加させていただいていることはとても嬉しいことでした。150周年を迎えるフェリスの歴史の中で、関わった形、時代は違っても、フェリスト教の信仰のもと、ともに育てられた喜びを味わいました。これからも、ともに歩める同窓の仲間として、お交わりの中に加わらせていただきたいと思っています。

今年度3月のカイパーコンサートは、デイジーオルガンの演奏会を予定しています。

同窓会室で開催しておりますサークル活動とともに、みなさまのご参加をお待ちしております。

フェリス白菊会会長 衛藤 怜子

第20回 カイパーサタデーコンサート

パイパーオルガン演奏会

（カイパー記念講堂、ティジョールガン）

（ガルニエオルガン）

演奏 中高オルガニスト

早川 幸子

2018年3月24日（土）

13:00開演

カイパー記念講堂

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya (1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2016年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2016年4月1日～2017年3月31日) (単位円)

前年度繰越金(2016年4月1日)		1,417,462
収入	同窓会連絡会 維持費	280,000
	白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各 ¥70,000×4	
	利息 2016年8月	6
	利息 2017年2月	6
	小 計	280,012
	収入合計	1,697,474

支出	支部総会お祝い金	60,000
	東京、関西支部、南西支部 各 ¥20,000×3	
	東京参加費 白菊会、りべるて ¥6,000×2	12,000
	関西支部大会出席会費、往復交通費	34,748
	南西支部大会出席会費、往復交通費、宿泊費	74,110
	ジャスラック	972
	クリスマス礼拝経費(含 振込手数料)	92,088
	支出合計	273,918

次年度繰越金 ¥1,423,556

以上の通りご報告いたします。

2017年4月1日 フェリス白菊会会計 折茂紀代子

クリスマス礼拝のご案内



《日 時》2017年12月9日(土)
午前11時から

《場 所》カイバー記念講堂

《説教者》中高校長
廣瀬 政明 先生

クリスマス礼拝(2016年) 献金先

献金総額	259,360円
●日本ユニセフ協会	64,840円
●日本キリスト教海外医療協力会	64,840円
●難民を助ける会	64,840円
●社会福祉法人日本医療伝道会	64,840円

大学事務部より

国際センター開設

2017年4月、緑園キャンパスCLA棟に国際センターを開設しました。国際センターは、留学希望者、外国人留学生への支援、学内における国際交流を推進する組織です。事務部門を担う国際課から、学生への支援体制を中心に報告します。

なぜ国際センターを作ったのですか？

入学時の留学説明会、アンケートによると、2人に1人は留学に関心があり、3人に1人は本学の制度利用による留学希望であるのに対し、実現する学生は全体の1割に達しません。語学力や経済的事情で断念することのないように支援を強化すること、留学希望者や外国人留学生が優先的に利用できる施設とすることを想定していました。留学や国際化を志向しない学生にとっても、卒業後は外国人と共働する組織やコミュニティの構成員になる可能性が高いため、在学中に「留学(生)」が日常的で身近な空間で、接しやすくすることも設置目的のひとつです。

国際センターの施設はどのように利用されていますか？

地域・国別の留学説明会、準備学習支援講座、海外協定校の現地担当者による広報、先輩学生による留学体験報告会、外国人留学生サポーター対象の講座、海外からの来訪学生歓迎行事などに利用されています。これまで分散していた国際交流フロンティア、留学資料コーナーなど施設を集約し、事務室(国際課)と隣接させ、留学希望者、外国人留学生への支援を一体的に行う姿勢を打ち出しています。

留学希望者への支援とは、具体的に？

期限までに語学能力の基準に到達しないと出願することができません。早期に計画を立て、自分にとっての目標を明確にしてもらうため、年30回以上の説明会開催、留学ガイドブック「Study Abroad」発行といった実践的な情報提供をしています。2017年度からは英語圏の交換留学の基準となる語学検定試験対策講座を新設しました。試験により受講許可された30名が熱心に学んでいます。

留学が決定した学生、留学中の学生にはどのようなサポートをしていますか？

渡航前には異文化適応、危機管理のためのマインドセット、現地での日本文化紹介など準備講座をワーク方式で実施。留学期間中も月次報告書「マンスリレポート」やメールを通じて学習や生活面に関する相談に個別に対応しています。

国際センターについて学生の反応は？

学食に近く通行量の多い場所にあり、潜在的な留学希望者にとってもアクセスしやすい環境、明るく開放的な施設なので、親しみやすいようです。イベントなど活動の様子が見えるので、学生の興味を惹きやすく、飛び入り参加の申し出を受けることもあります。



協定校：サセックス大学(イギリス) 担当者による説明会の様子

開催日：2017年3月29日
サセックス大学派遣内定者と、留学希望者が参加。



英語圏留学希望者対象「TOEFL iBT基礎レベル講座」受講期間：2017年5月～6月

テーマ『Dear～大切な人へ想いをこめて～』

開催日時：11月3日（金）、11月4日（土）
（両日とも11時～17時）

開催場所：緑園キャンパス

同窓生向け限定企画のご案内

永田道子先生来たる！

今年の大学祭（FERRIS FESTIVAL 2017）でも、「同窓生向け企画」を用意して皆さんをお待ちしています。

今年は、元国際交流学部教授の永田道子先生をお招きして、講演会と懇親会を開催します。懐かしの先生に会いにいらっしゃいませんか？大学祭では、その他たくさんの催し物も開催しています。旧友とそしてご家族と、緑園キャンパスで、ぜひ今のフェリスを体感してください。



- ◆日時 11月3日（金・祝）
開場：13：00
講演会：13：30～15：00
懇親会：15：00～16：00
- ◆場所 フェリス女学院大学 緑園キャンパス
（教室は当日揭示案内）
- ◆講演者 永田 道子 フェリス女学院大学名誉教授
- ◆対象 フェリス女学院大学同窓生とそのご家族の皆様

※事前予約不要・入場無料

企画・運営：フェリス女学院大学総務課
問い合わせ先 TEL：045-812-8211
e-mail：u-soumu@ferris.ac.jp

2017年度音楽学部コンサートのご案内

- ◆11月3日（金・祝）室内楽の夕べ
開演時間未定／入場無料 フェリスホール
【出演】学内オーディション合格者
- ◆11月23日（木・祝）オーケストラ協演の夕べ
19：00開演／入場無料 フェリスホール
【出演】ソリスト：学内オーディション合格者
指揮：鷹羽弘晃 フェリス室内管弦楽団
- ◆12月1日（金）フェリス管弦アンサンブル定期演奏会
19：00開演／入場無料 フェリスホール
【出演】フェリス管弦アンサンブル
指揮：飯吉高 ソリスト：学内オーディション合格者
- ◆12月23日（土・祝）クリスマス・コンサート
19：00開演／一般¥1,000 フェリスホール 詳細未定
- ◆2018年3月中旬 卒業記念演奏会
詳細未定／フェリスホール

音楽学部演奏委員会室 045-681-5189（月火木金 10時～17時）
E-mail：concert_office@ferris.ac.jp
フェイスブック：www.facebook.com/FerrisConcert

Fグループコンサートのご案内

- ◆9月16日（土）ジョイントコンサート（詳細15頁）
16：00開演／¥1,000 フェリスホール
- ◆11月4日（土）創立150周年記念 募金コンサート（詳細15頁）
16：00開演／前売¥3,000 当日¥3,500 フェリスホール
ピアノ：中野真帆子 オルガン：小清水桃子
Fグループアンサンブル

昭和22年、フェリス女学院大学前身の専門学校が誕生し、
カイパー講堂にて創立記念音楽演奏会が開催されて70年。
フェリスの歴史に思いを馳せながら演奏をお楽しみください。

プログラムに載せる名刺サイズの広告は5,000円にて募集中。

Fグループ事務局 045-681-6740（木曜日10時～17時）
Email：ferris@fgroup.jp

氏名	学年	回数	金額	合計
高橋亜細亜先生		2	0	14
岡田りてら		2	0	1
鈴木美恵子姉	(1998E)	2	0	1
鈴木久美子姉	(1998E)	2	0	1
荒木美穂子姉	(1998E)	2	0	1
石丸才子姉	(1998E)	2	0	1
神島和子姉	(1998E)	2	0	1
小関美和子姉	(1998E)	2	0	1
山門啓子姉	(1998E)	2	0	1
宮下はるみ姉	(1998E)	2	0	1
高橋直子姉	(1998E)	2	0	1
高橋敦子姉	(1998E)	2	0	1
川島陽子姉	(1998E)	2	0	1
戸野典枝姉	(1998E)	2	0	1
伊藤和枝姉	(1998E)	2	0	1
伊藤文代姉	(1998E)	2	0	1
田口文代姉	(1998E)	2	0	1
野崎みさ子姉	(1998E)	2	0	1
松原美登利姉	(1998E)	2	0	1
松岡和子姉	(1998E)	2	0	1
松岡裕美姉	(1998E)	2	0	1
原口ふたみ姉	(1998E)	2	0	1
Fグループ		2	2	2
小林英子姉	(1998E)	2	0	1
武井愛子姉	(1998E)	2	0	1
中並三七子姉	(1998E)	2	0	1
中並三子姉	(1998E)	2	0	1
中村哲子姉	(1998E)	2	0	1
中村哲子姉	(1998E)	2	0	1
中村哲子姉	(1998E)	2	0	1
松田香代姉	(1998E)	2	0	1
松田香代姉	(1998E)	2	0	1
松田香代姉	(1998E)	2	0	1
小関陽子姉	(1998E)	2	0	1
小関陽子姉	(1998E)	2	0	1
小林馨姉	(1998E)	2	0	1
浅野馨姉	(1998E)	2	0	1
浅野馨姉	(1998E)	2	0	1
樋口富子姉	(1998E)	2	0	1
樋口富子姉	(1998E)	2	0	1
樋口富子姉	(1998E)	2	0	1
天来の慰めをお祈りいたします。				
りてら		6	4	10
岡田りてら		3	9	12
鈴木美恵子姉	(1998E)	1	3	8
鈴木久美子姉	(1998E)	1	10	11
荒木美穂子姉	(1998E)	1	10	11
石丸才子姉	(1998E)	1	10	11
神島和子姉	(1998E)	1	10	11
小関美和子姉	(1998E)	1	10	11
山門啓子姉	(1998E)	1	10	11
宮下はるみ姉	(1998E)	1	10	11
高橋直子姉	(1998E)	1	10	11
高橋敦子姉	(1998E)	1	10	11
川島陽子姉	(1998E)	1	10	11
戸野典枝姉	(1998E)	1	10	11
伊藤和枝姉	(1998E)	1	10	11
伊藤文代姉	(1998E)	1	10	11
田口文代姉	(1998E)	1	10	11
野崎みさ子姉	(1998E)	1	10	11
松原美登利姉	(1998E)	1	10	11
松岡和子姉	(1998E)	1	10	11
松岡裕美姉	(1998E)	1	10	11
原口ふたみ姉	(1998E)	1	10	11
Fグループ		3	11	15
小林英子姉	(1998E)	2	11	17
武井愛子姉	(1998E)	2	11	17
中並三七子姉	(1998E)	2	11	17
中並三子姉	(1998E)	2	11	17
中村哲子姉	(1998E)	2	11	17
中村哲子姉	(1998E)	2	11	17
中村哲子姉	(1998E)	2	11	17
松田香代姉	(1998E)	2	11	17
松田香代姉	(1998E)	2	11	17
松田香代姉	(1998E)	2	11	17
小関陽子姉	(1998E)	2	11	17
小関陽子姉	(1998E)	2	11	17
小林馨姉	(1998E)	2	11	17
浅野馨姉	(1998E)	2	11	17
浅野馨姉	(1998E)	2	11	17
樋口富子姉	(1998E)	2	11	17
樋口富子姉	(1998E)	2	11	17
樋口富子姉	(1998E)	2	11	17
天来の慰めをお祈りいたします。				
りてら		30	11	41
岡田りてら		15	17	32
鈴木美恵子姉	(1998E)	2	2	4
鈴木久美子姉	(1998E)	2	2	4
荒木美穂子姉	(1998E)	2	2	4
石丸才子姉	(1998E)	2	2	4
神島和子姉	(1998E)	2	2	4
小関美和子姉	(1998E)	2	2	4
山門啓子姉	(1998E)	2	2	4
宮下はるみ姉	(1998E)	2	2	4
高橋直子姉	(1998E)	2	2	4
高橋敦子姉	(1998E)	2	2	4
川島陽子姉	(1998E)	2	2	4
戸野典枝姉	(1998E)	2	2	4
伊藤和枝姉	(1998E)	2	2	4
伊藤文代姉	(1998E)	2	2	4
田口文代姉	(1998E)	2	2	4
野崎みさ子姉	(1998E)	2	2	4
松原美登利姉	(1998E)	2	2	4
松岡和子姉	(1998E)	2	2	4
松岡裕美姉	(1998E)	2	2	4
原口ふたみ姉	(1998E)	2	2	4
Fグループ		2	2	4
小林英子姉	(1998E)	2	2	4
武井愛子姉	(1998E)	2	2	4
中並三七子姉	(1998E)	2	2	4
中並三子姉	(1998E)	2	2	4
中村哲子姉	(1998E)	2	2	4
中村哲子姉	(1998E)	2	2	4
中村哲子姉	(1998E)	2	2	4
松田香代姉	(1998E)	2	2	4
松田香代姉	(1998E)	2	2	4
松田香代姉	(1998E)	2	2	4
小関陽子姉	(1998E)	2	2	4
小関陽子姉	(1998E)	2	2	4
小林馨姉	(1998E)	2	2	4
浅野馨姉	(1998E)	2	2	4
浅野馨姉	(1998E)	2	2	4
樋口富子姉	(1998E)	2	2	4
樋口富子姉	(1998E)	2	2	4
樋口富子姉	(1998E)	2	2	4
天来の慰めをお祈りいたします。				
りてら		0	4	4
岡田りてら		0	4	4
鈴木美恵子姉	(1998E)	0	4	4
鈴木久美子姉	(1998E)	0	4	4
荒木美穂子姉	(1998E)	0	4	4
石丸才子姉	(1998E)	0	4	4
神島和子姉	(1998E)	0	4	4
小関美和子姉	(1998E)	0	4	4
山門啓子姉	(1998E)	0	4	4
宮下はるみ姉	(1998E)	0	4	4
高橋直子姉	(1998E)	0	4	4
高橋敦子姉	(1998E)	0	4	4
川島陽子姉	(1998E)	0	4	4
戸野典枝姉	(1998E)	0	4	4
伊藤和枝姉	(1998E)	0	4	4
伊藤文代姉	(1998E)	0	4	4
田口文代姉	(1998E)	0	4	4
野崎みさ子姉	(1998E)	0	4	4
松原美登利姉	(1998E)	0	4	4
松岡和子姉	(1998E)	0	4	4
松岡裕美姉	(1998E)	0	4	4
原口ふたみ姉	(1998E)	0	4	4
Fグループ		0	4	4
小林英子姉	(1998E)	0	4	4
武井愛子姉	(1998E)	0	4	4
中並三七子姉	(1998E)	0	4	4
中並三子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
小関陽子姉	(1998E)	0	4	4
小関陽子姉	(1998E)	0	4	4
小林馨姉	(1998E)	0	4	4
浅野馨姉	(1998E)	0	4	4
浅野馨姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E)	0	4	4
天来の慰めをお祈りいたします。				
りてら		0	4	4
岡田りてら		0	4	4
鈴木美恵子姉	(1998E)	0	4	4
鈴木久美子姉	(1998E)	0	4	4
荒木美穂子姉	(1998E)	0	4	4
石丸才子姉	(1998E)	0	4	4
神島和子姉	(1998E)	0	4	4
小関美和子姉	(1998E)	0	4	4
山門啓子姉	(1998E)	0	4	4
宮下はるみ姉	(1998E)	0	4	4
高橋直子姉	(1998E)	0	4	4
高橋敦子姉	(1998E)	0	4	4
川島陽子姉	(1998E)	0	4	4
戸野典枝姉	(1998E)	0	4	4
伊藤和枝姉	(1998E)	0	4	4
伊藤文代姉	(1998E)	0	4	4
田口文代姉	(1998E)	0	4	4
野崎みさ子姉	(1998E)	0	4	4
松原美登利姉	(1998E)	0	4	4
松岡和子姉	(1998E)	0	4	4
松岡裕美姉	(1998E)	0	4	4
原口ふたみ姉	(1998E)	0	4	4
Fグループ		0	4	4
小林英子姉	(1998E)	0	4	4
武井愛子姉	(1998E)	0	4	4
中並三七子姉	(1998E)	0	4	4
中並三子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
小関陽子姉	(1998E)	0	4	4
小関陽子姉	(1998E)	0	4	4
小林馨姉	(1998E)	0	4	4
浅野馨姉	(1998E)	0	4	4
浅野馨姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E)	0	4	4
天来の慰めをお祈りいたします。				
りてら		0	4	4
岡田りてら		0	4	4
鈴木美恵子姉	(1998E)	0	4	4
鈴木久美子姉	(1998E)	0	4	4
荒木美穂子姉	(1998E)	0	4	4
石丸才子姉	(1998E)	0	4	4
神島和子姉	(1998E)	0	4	4
小関美和子姉	(1998E)	0	4	4
山門啓子姉	(1998E)	0	4	4
宮下はるみ姉	(1998E)	0	4	4
高橋直子姉	(1998E)	0	4	4
高橋敦子姉	(1998E)	0	4	4
川島陽子姉	(1998E)	0	4	4
戸野典枝姉	(1998E)	0	4	4
伊藤和枝姉	(1998E)	0	4	4
伊藤文代姉	(1998E)	0	4	4
田口文代姉	(1998E)	0	4	4
野崎みさ子姉	(1998E)	0	4	4
松原美登利姉	(1998E)	0	4	4
松岡和子姉	(1998E)	0	4	4
松岡裕美姉	(1998E)	0	4	4
原口ふたみ姉	(1998E)	0	4	4
Fグループ		0	4	4
小林英子姉	(1998E)	0	4	4
武井愛子姉	(1998E)	0	4	4
中並三七子姉	(1998E)	0	4	4
中並三子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
中村哲子姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
松田香代姉	(1998E)	0	4	4
小関陽子姉	(1998E)	0	4	4
小関陽子姉	(1998E)	0	4	4
小林馨姉	(1998E)	0	4	4
浅野馨姉	(1998E)	0	4	4
浅野馨姉	(1998E)	0	4	4
樋口富子姉	(1998E			